

—Chic and Beauty of the Glassware Manufactured in the Edo Period—

江戸時代、祖先

# VIDRO & GIYAMAN



企画展

が能登半島出身という

# びいどろ・ぎやまん

江戸時代の和ガラスの粋と美

大震災に耐えた江戸時代の和ガラス、今能登に



切子細工で名を馳せたガラス屋さんがありました……

●会期

2008年 7月19日(土) ~ 9月29日(月)  
会期中無休

●開館時間

午前 9:00 ~ 午後 5:00 (入館は、30分前までに)

●会場

石川県能登島ガラス美術館 D展示室

●入館料

個人：800円、  
団体(20名以上)：700円、  
中学生以下：無料

●主催

七尾市、  
財団法人能登島ガラス美術館振興財団

●後援

七尾市教育委員会、石川テレビ放送、  
金沢放送局、テレビ金沢、  
北陸朝日放送、北陸放送 (順不同)

●協賛

能登ふるさと博事務局

【上左】つる朝顔形ガラス盃／安永5(1776)年~文政8(1825)年／神戸市立博物館蔵  
【上右】花緑藍緑ガラス盃／安永5(1776)年~文政8(1825)年／美光びいどろコレクション  
【下左】薩摩切子紫被せ格子文脚付ガラス杯／文政9(1826)年~明治8(1875)年／びいどろ史料庫蔵  
【下右】ガラス籬(加賀屋久兵衛 販売)／文政9(1826)年~明治8(1875)年／びいどろ史料庫蔵

石川県能登島ガラス美術館  
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

●開館時間 午前9:00 ~ 午後5:00 (入館は、30分前までに) ●会場 石川県能登島ガラス美術館 D展示室 ●入館料 個人: 800円、団体(20名以上): 700円、中学生以下: 無料 ●主催 七尾市、財団法人能登島ガラス美術館振興財団 ●後援 七尾市教育委員会、石川テレビ放送、(株)金沢放送局、テレビ金沢、北陸朝日放送、北陸放送(順不同) ●協賛 能登ふるさと博事務局

日本ではじめてガラスの器が作られたのは、長崎で、遅くとも17世紀中頃といわれています。18世紀初め頃には大坂、江戸と伝わり、18世紀末頃にはガラス製品が一般に普及していたようです。

江戸時代、ガラスは「びいどろ」や「ぎやまん」と呼ばれました。「びいどろ」は、ポルトガル語のガラスを意味する「ヴィードロ (vidro)」を語源とする言葉で、一般の吹きガラスを称しました。一方、「ぎやまん」は、ダイヤモンドを意味するポルトガル語の「ディアマンテ (diamante)」、あるいはオランダ語の「ダイヤモンド (diamant)」に由来する言葉といわれています。「ぎやまん」は、もともと、舶載されたガラス器に見られるダイヤモンドや旋盤で施された文様彫刻を「ぎやまん彫り」と呼び、彫刻が施されたガラスの器そのものを略して呼ぶようになったものですが、やがてダイヤモンドのように堅牢で無色透明なヨーロッパ製のガラス器を称するようになりました。19世紀始め以降になると、外国製に並ぶ透明度の高い和製ガラスが作られ、和製の高級なガラスをも意味するようになりました。

本展では、江戸時代、日本のガラス工芸史に名をとどめる江戸のガラス屋・加賀屋の祖が、この能登半島の出身であることをご紹介しつつ、中国のガラス製造技術やヨーロッパのカットデザインなどの影響を受けながら、日本独自の技術と意匠で生み出された江戸時代の和ガラスの優品約100点をご紹介します。

また、大震災に耐えた貴重な品々を展示させていただくことで、昨年被災した能登半島の復興を祈念する機会といたく存じます。



1



2



3



4



5



6



7

- 1 切子格子文丸形ガラス三段重/文政9(1826)年~明治8(1875)年/神戸市立博物館蔵
- 2 型吹き黄色唐草文四方ガラス向付/享保10(1725)年~安永4(1775)年/神戸市立博物館蔵
- 3 ピース飾り魚形銀製櫛/文政9年(1826)年~明治8(1875)年/びいどろ史料庫蔵
- 4 藍色ギヤマン彫り牡丹文台付ガラス杯/安永5(1776)年~文政8(1825)年/美光びいどろコレクション
- 5 型吹き彩繪菊蝶文ガラス碗/安永5(1776)年~文政8(1825)年/美光びいどろコレクション
- 6 薩摩切子銅紅被せ魚子文ガラス小皿/文政9(1826)年~明治8(1875)年/びいどろ史料庫蔵
- 7 切子ガラス文具一式/文政9(1826)年~明治8(1875)年/美光びいどろコレクション

掲載作品のすべて  
撮影 ©加藤成文

関連イベント 高校生以上の方は入館料が必要です

### とっておきギャラリートーク

#### 「びいどろ・ぎやまん鑑賞公開講座」

8月9日(土) 午後2:00~午後3:30  
神戸市立博物館 主幹・学芸員 岡 泰正 氏

江戸時代のガラスの見方、作り方について作品を見ながらのお話

### みてふれるギャラリートーク

7月26日(土)、8月6日(水)、8月13日(水)、  
8月20日(水)、8月27日(水)、9月20日(土) 午後2:00~

当館学芸員による作品解説と復元品に触れる体験(先着10名)

### 夏休みびいどろ・ぎやまんクイズ

7月19日(土)~8月31日(日)

### ガラスデモンストレーション・テーマは和風

8月毎週土日

江戸時代の職人技にちなみ、現代のガラス作家たちが、技や作品を披露します。

### わくわくワークショップ

#### 「和風も楽しいガラス絵付け」

7月20日(日)、21日(月)  
午前10:00~午前11:30、午後1:30~午後3:30  
参加費: 200円~500円 所要時間: 約40分~1時間半

本場の江戸風鈴やガラスの器に絵付けします。

#### 「和風も楽しいガラス彫刻」

9月13日(土)、14日(日)  
午前10:00~午前11:30、午後1:30~午後3:30  
参加費: 200円~300円 所要時間: 約40分

電動ルーターで現代の「ぎやまん彫り」に挑戦!

### 道の駅・のとしま協賛企画

#### 「見よう、作ろう、味わおう! 能登島ガラス三昧」

8月13日(水)~17日(日)を除く会期中開催(美術館まで要予約)

当館観覧前にご予約し、観覧後、入館券の半券を下記の施設へお持ちになると、以下のサービスが受けられます。

能登島ガラス工房 → 吹きガラス体験が500円割引  
交流市場の2F食堂 → 新鮮な地物の特別メニューをガラスの器でいただく能登島ガラス御膳が300円割引(先着20名様限定)。



●同時開催● A展示室 日本の現代ガラス B展示室 日本近代のガラス、中国清朝のガラス  
収蔵品展示 C展示室 ピカソやグリなど20世紀巨匠の現代ガラス



〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10 TEL 0767-84-1175 FAX 0767-84-1129  
http://www.city.nanao.lg.jp/glass/

交通案内  
電車・バス: JR和倉温泉駅から能登島交通バス「のとしま臨海公園行き」に乗り、約30分。「美術館前」下車すぐ。  
車: 能越自動車道田鶴浜料金所(能登有料道路徳田大津JCT経由)から車で約25分。  
飛行機: 能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間(片道1,300円)。